

2023年1月17日

報道各社 御中

全国農業協同組合連合会三重県本部（JA全農みえ）

## 三重県産ブランド牛「伊賀牛」の 協議会発足60周年を記念し、式典を開催します

三重県産ブランド牛「伊賀牛」の生産振興をはかるため設立された「伊賀産肉牛生産振興協議会」の発足60周年を記念し式典を開催します。

式典では、功労者の表彰や販売業者・子牛産地への感謝状贈呈を行うとともに、飼料・資材の高騰が続く情勢のなか、「伊賀牛」のブランドをより強固なものとするため生産者・関係者が結集しさらなる飛躍を目指します。

ご多用の折に恐縮でございますが、ぜひ取材いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

### 記

1. と き：2023年1月23日（月）14：00～16：00
2. ところ：上野フレックスホテル オークホール  
（伊賀市平野中川原544-2）
3. 内 容：（1）伊賀牛経過報告  
（2）来賓祝辞  
（3）功労者表彰  
（4）販売業者・子牛産地への感謝状贈呈
4. 来賓者：・三重県知事  
・伊賀地域選出三重県議会議員  
・伊賀市、名張市議会議員  
・販売先、取引先関係者ほか
5. 主催者：伊賀産肉牛生産振興協議会（事務局=JA全農みえ 畜産課）



以上

<参考>

## 「伊賀牛」の概要

定義	伊賀産肉牛生産振興協議会会員が飼養管理する黒毛和種の雌の未經産牛 最終かつ最長飼養地が伊賀地域（伊賀市、名張市）で、当地域で1年以上飼養された牛
会員農家数	23戸
飼養頭数	約2400頭
年間出荷頭数	約1200頭
販売形態	生体相対（農家庭先）約7割、生体せり（年3回）約1割、枝肉販売約2割。生体販売のほとんどは地元、伊賀地域内での販売。農家庭先での生体取引は全国でも珍しい販売形態です。2014年から輸出も行っています。

## 伊賀産肉牛生産振興協議会とは

目的・事業活動	伊賀産肉牛の生産を振興し、名産「伊賀牛」産地の造成をはかるため、飼養管理技術の向上や経営の合理化に向けた研修会、共進会の開催、販売促進活動などに取り組んでいます
設立年	1962年
構成員	J Aいがふるさと、伊賀市、名張市、県関係機関、生産者、J A全農みえ
事務局	J A全農みえ 畜産課

当協議会では「伊賀産肉牛共進会」を開き、その年度の出品牛を審査し、その年度のチャンピオン牛を決定、表彰します。

